

第12回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」議事録

■開催日時：令和元年9月30日（月）17：00～19：00

■開催場所：TKP ガーデンシティ京都 7階 橋

（京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町721-1 京都タワーホテル）

■委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）

角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）

野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）

箱石 憲昭（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長）

◎深川 良一（立命館大学理工学部 特命教授）

◎印は委員長（50音順・敬称略）

■オブザーバー： 滋賀県・京都府・大阪府・大阪広域水道企業団

■議事概要：

委員会は委員5名全員の出席により、事務局から委員会規約の改正、天ヶ瀬ダム再開発事業、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

■規約の改正について

・委員名簿の変更に伴う規約の変更について説明を行い、提案通り了承された。

■天ヶ瀬ダム再開発事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）

2. 事業進捗状況（意見なし）

3. コスト増加項目

・可能な限りコスト縮減案の検討を行うこと。

・重金属を含む濁水処理量やグラウト量は不確実性について精査するとともに、コスト縮減につながるよう、モニタリングや施工方法等について検討を行うこと。

・増額要因及び金額を精査し、縮減につながるよう確認を行ったうえで、事業費等監理委員会での結果を報告すること。

4. コスト縮減実施内容（意見なし）

5. その他の意見

・オブザーバー（滋賀県、京都府、大阪府）より、「事業費が増額となるならば遺憾であり、コスト増加要因の詳細、コスト縮減、事業工程などを示し、事業監理について委員会で厳正な確認を求める」等の意見が出された。

■大戸川ダム建設事業について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト増加項目 (意見なし)
4. コスト縮減項目
 - ・巨礫を貫いたアンカーが十分な地耐力を有しているか確認しながら進めること。
5. その他の意見
 - ・新技術の施工性や品質等の評価を反映させながら引き続きコスト縮減を図っていくこと。

■川上ダム建設事業について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト増加項目 (意見なし)
4. コスト縮減項目 (意見なし)
5. その他の意見
 - ・本体工事のグラウト量を注視しながら、基礎処理について所定の機能が得られるよう適切に実施すること。
 - ・水を貯めることが大事なので、仮にコスト増になったとしても適切に対処すること。

■丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト縮減項目 (意見なし)
4. その他の意見
 - 引き続き整備を進めること。

(以上)